

北海道における野生タンチョウの冬期確認数一覧

年度	調査期	総数	幼鳥数	年度	調査期	総数	幼鳥数
1952	1952 / 53	33	—	1985	1985 / 86	383	44
1953	1953 / 54	42	—	1986	1986 / 87	421	45
1954	1954 / 55	52	—	1987	1987 / 88	390	38
1955	1955 / 56	61	—	1988	1988 / 89	416	44
1956	1956 / 57	76	—	1989	1989 / 90	463	38
1957	1957 / 58	92	—	1990	1990 / 91	453	58
1958	1958 / 59	121	—	1991	1991 / 92	505	74
1959	1959 / 60	135	—	1992	1992 / 93	522	54
1960	1960 / 61	167	—	1993	1993 / 94	569	52
1961	1961 / 62	170	—	1994	1994 / 95	500	50
1962	1962 / 63	178	20	1995	1995 / 96	600	55
1963	1963 / 64	141	19	1996	1996 / 97	619	59
1964	1964 / 65	148	17	1997	1997 / 98	615	74
1965	1965 / 66	166	24	1998	1998 / 99	706	103
1966	1966 / 67	165	26	1999	1999 / 2000	740	80
1967	1967 / 68	195	24	2000	2000 / 01	771	92
1968	1968 / 69	162	21	2001	2001 / 02	887	119
1969	1969 / 70	199	20	2002	2002 / 03	898	122
1970	1970 / 71	161	28	2003	2003 / 04	950	104
1971	1971 / 72	128	17	2004	2004 / 05	1,008	124
1972	1972 / 73	203	26	2005	2005 / 06	1,101	122
1973	1973 / 74	213	26	2006	2006 / 07	1,213	127
1974	1974 / 75	234	28	2007	2007 / 08	1,248	132
1975	1975 / 76	176	12	2008	2008 / 09	1,324	131
1976	1976 / 77	201	37	2009	2009 / 10	1,243	137
1977	1977 / 78	234	22	2010	2010 / 11	1,267	159
1978	1978 / 79	192	18	2011	2011 / 12	1,471	192
1979	1979 / 80	250	34	2012	2012 / 13	1,437	135
1980	1980 / 81	262	38	2013	2013 / 14	1,450	160
1981	1981 / 82	299	26	2014	2014 / 15	1,550	167
1982	1982 / 83	315	42	2015	2015 / 16	1,850	223
1983	1983 / 84	329	32	2016	2016 / 17	1,750	206
1984	1984 / 85	344	43	2017	2017 / 18	1,600	206+

* 総数には年齢不詳の65羽が含まれる

* 各年度の冬期間は、当年12月から翌年2月にかけての3ヶ月間を示す(1952年は11月29日に調査)

* 1952-1983年度は北海道教育委員会及び北海道による生息状況一斉調査(1952-1979年度)及び給餌場における調査(1980-82年度)の結果に基づく(1958年度以降は、調査結果より飼育個体数を減している。また1980年度以降は複数回調査が行われているので、その内の最大数を採用した)

* 1984-1993年度、1995-2012年度は、正富宏之博士を中心とした任意団体及びタンチョウ保護研究グループが行った調査結果

* 1994年度は、北海道及び釧路市動物園の資料に基づく

* 2013年度以降は、タンチョウ保護研究グループが50羽単位で集計し、発表した数

文献・参考資料

北海道 1986 タンチョウ特別調査報告書 北海道 184P

北海道文化財保護協会 1975 タンチョウ特別調査報告書(北海道文化財シリーズ第15集) 北海道文化財保護協会80P

正富宏之 1979 タンチョウの生活における諸問題XI 専大北海道紀要12: 5-11

正富宏之 2000 タンチョウ そのすべて

正富宏之・百瀬邦和 1985 冬期給餌場へのタンチョウの飛来個体数 専大北海道紀要18: 123-131

正富宏之ほか 1986 冬期給餌場を利用するタンチョウ個体数 専大北海道紀要19: 45-54

Masatomi, H. et al. 1989 Wintering population of the Tancho *Grus japonensis* in Hokkaido, 1987-88.

International censuses on wintering cranes in east Asia, 1987-1988.: 27-36 International crane research unit in eastern Asia.

正富宏之ほか 1991 1989-1991年の冬期給餌場におけるタンチョウ 専大北海道紀要 23: 209-223

正富宏之ほか 1992 1991-1992年の越冬地におけるタンチョウの個体数 専大北海道紀要 25: 175-183

正富宏之ほか 1995 北海道の冬期給餌場における1993年と1994年のタンチョウ越冬個体数 専大北海道紀要 28: 87-102

正富宏之ほか 1997 北海道における1996年と1997年のタンチョウ越冬個体数 専大北海道紀要 30: 129-143

正富宏之ほか 2000 北海道東部における1998年と1999年のタンチョウの越冬個体数 阿寒国際ツルセンター紀要 1: 11-26
正富宏之ほか 2002 北海道における2000年のタンチョウ越冬羽数 阿寒国際ツルセンター紀要 2: 38-50
正富宏之ほか 2003 2001年と2002年の北海道東部におけるタンチョウの越冬数 阿寒国際ツルセンター紀要 3: 3-23
正富宏之ほか 2004 北海道における2003年と2004年のタンチョウ越冬数 阿寒国際ツルセンター紀要 4: 3-20
正富宏之ほか 2005 北海道における2004-5年冬のタンチョウ個体数 阿寒国際ツルセンター紀要 5: 3-16
正富宏之ほか 2006 北海道における2006年のタンチョウ個体数 阿寒国際ツルセンター紀要 6: 3-15
正富宏之ほか 2008 2007年1月の北海道におけるタンチョウ個体数 阿寒国際ツルセンター紀要 7: 3-15
正富宏之ほか 2009 2007-2008年冬の北海道におけるタンチョウ個体数 阿寒国際ツルセンター紀要 8: 3-17
正富宏之ほか 2010 北海道で2008-2009年冬に記録したタンチョウ個体数 阿寒国際ツルセンター紀要 9: 3-16
正富宏之ほか 2012 (1) 北海道における2009-10年冬のタンチョウ個体数 阿寒国際ツルセンター紀要 10: 3-17
正富宏之ほか 2012 (2) 2011年1月の北海道におけるタンチョウ個体数センサス 阿寒国際ツルセンター紀要 10: 47-61
正富宏之ほか 2014 2012年厳冬期の北海道に生息するタンチョウ個体数 阿寒国際ツルセンター紀要 11: 3-18
正富宏之ほか 2015 2013年厳冬期における北海道のタンチョウ個体数 阿寒国際ツルセンター紀要 12: 3-20
Momose, K., Masatomi, H. 1988 Number of the Tancho wintering in Hokkaido, Japan, in 1986-87
タンチョウ保護研究グループ*2014 2013年度活動報告 Tancho 22
タンチョウ保護研究グループ*2015 2014年度活動報告 Tancho 25
タンチョウ保護研究グループ 2017 2016年度カウント調査 Tancho 32
タンチョウ保護研究グループ 2018 タンチョウ保護研究グループの総数調査をいやすために Tancho 34